

曙川東小学校区

第3期（令和5年度～10年度）

わがまち推進計画

地域の皆様や各種団体のご協力のもと、令和5年度から始まる曙川東小学校区まちづくり協議会の第3期「わがまち推進計画」を策定しました。これまでの経緯を踏まえ、安全で安心して暮らせる「明るいふれあいのまち」づくりを目指してまいります。



曙川東小学校区まちづくり協議会

データから見る曙川東小学校区

(平成23年度～令和3年度の10年間の推移)

	平成23年度	令和3年度
世帯数	2,882	3,264
人口	6,472	6,809
小学校児童数	274	306
65歳以上の人口	1,692	2,088
高齢化率(※)	26.2%	30.7%

※ 65歳以上の人口/人口(%)

最近の変化は、アクロスプラザなど店舗の集積ゾーンが増加しました。また、新しい住宅地域ができ世帯数が増加しました。伴って小学校の児童数も増え、今後5年間は増加していきます。児童数や若い世代が増えることによって明るく、賑わいのあるまちづくりが求められます。

第2期の振返り

第2期わがまち推進計画では、「地域の交流が盛んで、ふれあいにあふれるまち」「子どもを対象とした健全育成のまちづくり」「高齢者が楽しんで暮らせるまちづくり」「あらゆる世代が安心して暮らせるまち」の4つの重点目標を掲げ、各事業に取り組んできました。いずれの取り組みもニーズが高く、引き続き取り組んでいく必要があると考えています。

また、上記のデータからも、地域の人口構成にも変化が見られ、地域情勢も変わりつつあります。そういった地域の変化にも対応しながら、新たな課題に対しても柔軟な姿勢で取り組んでいきたいと考えております。

—第3期の重点目標—

- 心のかよう福祉のまちづくり
- 青少年の健全育成
- 高齢者福祉事業の推進
- 安全で安心できるまちづくり
- 地域の情報共有化の推進

【心のかよう福祉のまちづくり】

地域内のコミュニケーションが大切です。精神科の先生は「一日に7人以上の方と話してください」と。若い人は意識する必要はありませんが、高齢者は認知予防だけでなくお付き合いの範囲を広げるためにも大切な日常生活です。そのためには集う場所づくりが求められます。同年代だけでなく、若い人や子どもたちとも話ができる「ふれあいひろば」。具体的には「ふれあい喫茶」「ふれあい給食」「世代を超えたふれあい祭り」「校区市民スポーツ祭」「クリスマス&餅つき大会」など、世代間での交流を深める取り組みを推進していきます。

【青少年の健全育成】

子供会活動が活発な頃は、子どもを通じて親御さんやその家族の顔が分かったものです。嘆いても仕方ありません、現状は変わってきました。小学生の「見守り隊」「夜間のパトロール」「住民懇談会」などで問題点を共有することも大切です。また地域の各団体が実施している「スポーツ体験教室」「クラフト教室」「農業体験教室」など、子どもたちが楽しめるイベントの開催を継続するとともに、子どもたち目線で楽しめる事業を進めていきたい。活発だった子供会活動の目的でした、子どもを通して家族とのコミュニケーションが図れるまちづくりを目指します。

【高齢者福祉事業の推進】

当地区の高齢化率は令和3年度で30.7%です。ただ、この数字は65歳以上です。当地区では、80歳を過ぎても元気な方がたくさんおられます。その源はよ

く食べ、良くしゃべることです。「ふれあい給食」「ふれあい喫茶」や河内音頭体操・歌体操などを取り入れた「運動教室」、囲碁・将棋を楽しむ「天狗会」などへ参加し、楽しんでもらう。また、地域は人材の宝庫です。パソコンの達人や小物修理、編み物、絵手紙など、打ち込んで自身が楽しめる場が見つければ80歳を越えても元気になります。そんな場をつくりたい。

【安全で安心できるまちづくり】

防犯カメラの設置、夜の防犯灯の設置、こども110番の旗の新設、登下校の交差点の見守りなど、気配りのある地域の目が大切です。特に災害時の避難・支援訓練が重要です。令和4年度は、自治振興委員会を中心に地域自主防災組織が活発に活動しています。この地域は地震災害を第一に想定し、町会ごとの避難場所、避難誘導、避難経路、安否確認、要支援者の確認、本部や市への伝達体制、避難経路を含む地域の防災マップ作製など訓練を通じて進行しています。第3期計画ではさらに充実させていきます。

【地域の情報共有化の推進】

現状の情報伝達は、町会の回覧板やポスターです。町会加入率は60%台です。また、新しい若い世代の世帯が増えました。地域のみんなが、地域のことをいつでもどこでも誰でも知ることができる必要があります。地域住民の情報の共有化が求められています。当協議会では、令和4年度に広報部会を新設しました。地域の優秀な人材が部会の活動に参加し、情報の共有化を進めています。まずホームページの構築、そして行事の動画配信、子ども達がつないでいる歴史ある「講念佛踊り」や発掘された「由義寺遺跡」のPR版などを制作していきます。広報部会にはスタッフとして大人の他、小学生、中学生、高校生も加わっています。こども目線での地域活性化も出したいためです。情報の共有化で各種団体の行事や地域事業を周知することで、コミュニケーションが生まれ、町会加入も増えれば幸い。デジタル化はますます進展していきます。第3期で充実した情報の共有化を進めていきます。